

2023年度入試【3年次編入学】

【日本語学・日本文学】

(法文学部・言語文化学科)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は二ページである。解答用紙は一枚、下書き用紙は一枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 4 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。
- 5

一 文章を読んで後の問いに答えよ。

ある殿上人、さるべき所へまゐりたりけるに、をりしも雪降りて月おぼろなりけるに、中門の板に候ひて、寝殿なる女房におひしりひけるが、「このおぼろ月はいかがし候ふべき」と言ひたりければ、A女房返事はななくて、とりあへずうちよりたたみを押し出だしたりける心ばやさしいみじかりけり。
B照りもせず曇りもはてぬ春の夜のおぼろ月夜にしく物ぞなき

『今物語』(下巻)

(注) 中門―寝殿造で東西の対屋から釣殿・泉殿に渡した廊下の中ほどにある門。

板―板敷。

たたみ―薄縁(うすべり)。敷物の一種。

問一 傍線部Aについて、女房はなぜこのような対応をしたのか説明せよ。

問二 傍線部Bを現代語訳せよ。

二 「語種」とは何か。具体例を挙げて説明せよ。

三 次の漢詩は正藤道処(一一八一―一八七五、鳥取藩士、漢詩人の「夜梅」と題する作品である。読んで、以下の問いに答えよ。返り点、送り仮名はすべて省略した。

月落窓無影 有風送香来
数点隣牆雪 分明知是梅

問一 この詩の形式を答へよ。

問二 押韻字をすべて指摘せよ。

問三 起句「月落窓無影」をひらがなだけで読み下せ。

問四 転句、結句「数点隣牆雪 分明知是梅」を、わかりやすい日本語に訳せ。

四 以下の問いに答えよ。

問一 平安時代の文学に見られる中国文学の影響について、具体的な作品を一つ挙げて説明せよ。

問二 近世前期の小説について知るところを述べよ。

問三 次の文学史的事項の中から一つを選び、知るところを述べよ。

中原中也 堀辰雄 川上弘美 横溝止史 直木賞 小説「それから」 小説「破戒」